

こくさい新聞

中学1・2・3年生
下関市総合政策部 国際課
電話:083(231)9653
メール sskokusa@city.shimo-noseki.yamaguchi.jp

めざせ、未来の「国際人」！ 小学生海外派遣報告〜韓国版〜

下関では姉妹都市の韓国釜山広域市に毎年小学生を派遣しています。今回で11回目の派遣となりました。家族と離れての外国の体験はちよつと不安ですが、日本では体験できないことばかり。今号ではこの研修でしか体験できないことばっかり。今号ではこの研修でしか体験できないことばっかり。今号ではこの研修でしか体験できないことばっかり。

ドキドキの出国

昨年11月4日〜9日に釜山派遣研修が行われました。海外に初めて行く団員がほとんどで、出国審査ではみんな大変緊張しました。無事出国手続きが済むと、両市の間を結ぶ関釜フェリー「はまゆう」に乗りました。釜山到着ま



入国に備えて準備する様子

気分は外交官！

での間、団員たちの友好はさらに深まり、大変楽しい船旅になりました。

団員は下関市の代表として釜山市役所を敬訪問しました。韓国語での自己紹介はドキドキしましたが、



事前研修で一生懸命練習したので、みんな大成功に立派に下関代表を務めました。

韓国語で自己紹介をする団員

韓国の小学生と友達に

現地の小学校を訪問し、あやとりや折り紙などの日本文化を紹介しました。また、韓国の小学生は日本の浴衣を、団員は韓国の伝統衣装チマチョゴリをそれぞれ着ました。韓国の小学生は何事にも積極的で、踊りの披露など、みんなが自信を持って取り組んでいる姿がとても印象的でした。言葉は通じなくても、同じ小



あやとりを披露する団員たち

水族館で大冒険

しものせき水族館海響館と姉妹水族館の釜山アクアリウムに行きました。



冒険中の団員たち

釜山アクアリウムに行きました。ここではサメや下関から贈られたフグも飼育していました。

海外で暮らす日本の友達

釜山で暮らす日本の小学生が通う日本人学校も訪問しました。基本的な授業などは皆さんと変わりませんが、外国で生活する彼らは、韓国語も勉強しなければなりません。海外で暮らす大変さも教えてくれました。ちなみに今流行っている遊び



じゃんけんゲームで交流する様子

は、遊びは、球やサッカー、一輪車で遊ぶ。だそうです。

研修ではどんな食事を食べるの？

韓国料理と言えば、キムチや焼肉、ビビンバなどを連想しますが、研修中色々な食事を体験することができます。もちろん辛いものが苦手な人でも大丈夫。たくさんのおかずがあるので、好きなものを選んで食べることもできます。しかも、キムチや漬物などのおかずは全て無料で、お代わりも自由です。日本の韓国料理屋とは少しシステムが違うようです。



(左上)無料のおかず



(右上)ビビンバ体験



(左下)チャガルチ市場で「食材探し」体験



(右下)しゃぶしゃぶ

日本国総領事館訪問

最後に日本国総領事館を訪問しました。こちらでは外交官の方が、仕事の内容や釜山市の概要などについて丁寧に説明してくれました。また、日本の小説やマンガなども置いてあり、団員も興味津々。マンガも日本を代表する文化の一つです。国際課は未来の国際人を育てるために、今年もピッツバグ市への派遣研修を行う予定です。今後の「こくさい新聞」をお見逃しなく！



総領事館にて日本の本に興味津々の団員達

最後に、今年もピッツバグ市への派遣研修を行う予定です。今後の「こくさい新聞」をお見逃しなく！